

准教授 樋口 恵佳 (Eka HIGUCHI)

研究シーズ

【法律・政治】 【環境・交通】

専門

国際法/国際海洋法/国際環境法

研究キーワード

国連海洋法条約/海洋生物多様性 (BBNJ) /海洋科学調査/
自律型無人探査機 (AUV) /海洋ごみ問題/相当の注意義務/
海面上昇/能力構築制度



研究テーマ

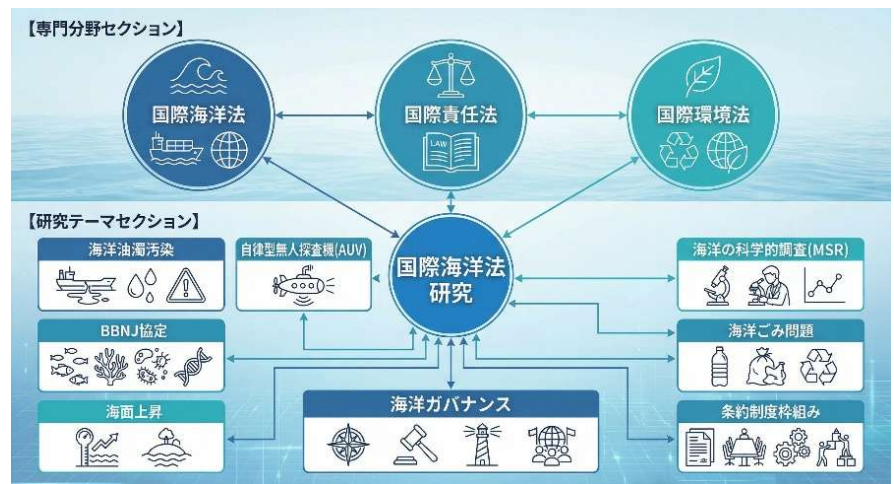
国際法、特に国際海洋法に基づく、海洋の利用に関する様々な研究

研究の概要

国と国との国際約束である国際法を研究しています。特に最近では国際海洋法の分野に関する論文を中心に書いています。

海洋油濁汚染に伴う賠償制度、海洋の科学的調査(MSR)制度と自律型無人探査機 (AUV) の法的地位、国家管轄権外区域における海洋生物多様性に関する協定 (BBNJ協定)、海洋ごみ問題に対する国際的な法的枠組みと国内法整備、海面上昇と国家の権利義務との関係、条約の制度枠組み (能力構築制度や、科学技術機関と政策的意思決定機関との関係など) に焦点を当てた研究をしてきました。

これらの研究を通じて、現代の海洋ガバナンスにおける課題の解決に資することができればいいと考えています。



セールスポイント

私の研究は、国際法(条約や国際慣習法)です。特に最近では、地球規模の海洋課題についての議論をフォローしています。新たな海洋技術の利用に伴う法的リスクの評価、国際協力の促進、海洋環境保全に向けた政策提言や助言が可能です。国際会議での活発な情報発信も行っています。

想定される用途・応用例・活用例

- ・ 海洋産業: 海洋観測機器やAUVの開発・運用における共同研究、学会の研究状況についてのアドバイス。
- ・ 政府・自治体: 沿岸域利用に関する研究会の開催、海洋ごみや海面上昇などに伴う海洋環境保全策の運用アドバイスなど。
- ・ 教育機関: 国際海洋法や国際環境法に関する専門教育プログラムの開発など。